

デンマーク

Kingdom of Denmark

	2007年	2008年	2009年
①人口:553万人(2010年年初)			
②面積:4万3,098k m ²			
③1人当たり:GDP5万6,115米ドル (2009年)			
④実質GDP成長率(%)	1.7	△0.9	△4.9
⑤貿易収支(デンマーク・クローネ、 財のみ)	20億	△36億9,700万	357億1,500万
⑥経常収支(デンマーク・クローネ)	249億8,100万	379億7,100万	680億8,400万
⑦外貨準備高(米ドル)	325億3,440万	404億6,580万	742億9,090万
⑧為替レート(1米ドルにつき、 デンマーク・クローネ、期中平均)	5.4437	5.09813	5.36087

[出所] ①②④⑤⑥:デンマーク統計局, ③⑦⑧:IMF

2009年のデンマーク経済は、世界景気低迷の影響から内外需共にふるわず実質GDP成長率が戦後最悪のマイナス4.9%に落ち込んだ。貿易は、輸出入ともに不振だった。直接投資は、対内直接投資額は増加し、対外直接投資額は減少した。対外投資では、医薬品と食品分野で大手企業による積極的な事業拡大が目された。

■金融危機の影響続く

2008年に景気後退入りしたデンマーク経済は、2009年も実質GDP成長率がマイナス4.9%と前年に引き続き低迷した。景気の後退幅は第2次世界大戦後最大で、経済の先行き見通しの悪さから、個人消費が前年比4.6%減、民間設備投資も14.0%減と大幅に落ち込んだ。加えて、需要項目上の輸出も10.4%減で、内外需共に不振だった。

デンマーク経済は、2003年の住宅ローン税制改正を機に住宅を担保とするローンを利用した個人消費ブームが起り、好景気を謳歌してきた。しかし、2007年後半頃から不動産価格が下落傾向に転じ、個人消費も減退、リーマン・ショックに先駆けて景気が鈍化した。2009年第3四半期になると不動産価格も下げ止まり、四半期ごとのGDPも前期比でプラスに転じるなど、景気回復の兆しが随所で見え始めた。しかしこの間、労働市場が急速に縮小し、失業率が2009年4月の5.8%から2010年3月には7.6%まで急上昇した。2008年10月に5.50%だった中央銀行貸出金利は、同年11月以降14回の引き下げを経て2010年1月には史上最低の1.05%になった。

物価は2008年第4四半期から2009年第1四半期にかけて下落したが、その後持ち直し、2009年の消費者物価上昇率(年平均)は1.3%となり、2010年第1四半期に入って燃料価格の上昇などを全体に上昇傾向にある。しかし、2010年に入ってユーロ安の中、デンマーク・クローネのユーロ連動を維持するため、中央銀行は貸出金利以外の政策金利の値下げを余儀なくされており、利上げに転じるのは難しい状況が続いている。

財政面をみると、2008年半ばまでは、好景気の下、順調に財政黒字を計上してきたが、2009年に入ると、景気刺激目的の公共事業実施、税収減、などにより、467億デ

ンマーク・クローネ(以下Dkr)の財政赤字(GDPの2.8%に相当)を計上、2010年は失業給付等の増加により財政収支はさらに悪化、赤字は882億Dkr(同5.1%に相当)に達する見込みだ(2010年5月発表 財務省財政見通し)。

■為替の影響により周辺国への輸出が不振

2009年の貿易(通関ベース)は、輸出が前年比15.9%減の4,926億4,100万Dkr、輸入は21.1%減の4,391億8,800万Dkrとなり、共に前年比減となった。貿易収支は輸入の落ち込み幅が輸出を大きく上回ったことなどから534億5,300万Dkrの黒字となった。

輸出を品目別にみると、全体の約4分の1を占める機械類が最大の品目だが、19.6%減と大幅減となった。多くの品目が不振だったが、特に船舶、航空機、鉄道用車両などのその他輸送機器の落ち込みの影響が大きい。続く食品(構成比17.4%)も、6.7%減と低調だった。主力品目の1つで、価格高騰から前年に大幅増となった原油・石油製品(6.8%)も価格の下落、国内の石油産出量減少などにより35.5%減と激減した。食品と原油・石油製品の輸出先はスウェーデン、英国、ノルウェーなど近隣のユーロ非加盟国が中心だが、それらの国の通貨は、金融危機以降、ユーロに対して1割前後切り下がったことから、ユーロに連動するデンマーク・クローネ建では輸出上不利だったといえる。こうした中、医薬品(8.7%)は、前年の落ち込みから回復し5.4%増と唯一伸びを見せた。デンマーク医薬品産業組合はBRICsやアジアなどの成長市場向けに輸出が好調だったこと、景気変動に左右されにくい業種であること、クローネがドルやアジア通貨に対して安く推移したことが追い風となったことを理由として挙げている。

国・地域別に輸出を見ると、EU27 向けは 18.3%減と不振だったものの、依然、全体の 66.2%を占め最大の輸出先である。EU27 の国別では、ドイツが最大の仕向け先(構成比 17.3%)だが、ドイツ企業の生産低迷により、主力輸出品である半加工品や部品が減少し、全体で 17.0%減と不振だった。これに続くのがスウェーデン向け(12.7%)で 26.4%減と大幅減となった。同国向けの輸出の 22.5%を占める原油が 45.9%減と激減した影響が大きい。以下、英国向け(8.5%)、ノルウェー向け(6.4%)と続くがともに 12.3%減だった。これら 3カ国の不振は、前述のとおり、為替変動の影響が大きいとみられる。EU 域外で最大の輸出先である米国向け(6.3%)は 6.4%減となった。唯一、中国向け(2.3%)が 2.3%増と増加した。同輸出の約半分(45.2%)が機械類で、医薬品(13.1%)、食品(12.5%)が続く。

輸入を品目別に見ると、最大品目は例年通り機械類(構成比 33.7%)だが、20.9%減と減少した。機械類の中でも、道路輸送用機器(5.2%)は個人消費意欲の減退により乗用車の販売台数が大幅減となったことから 43.8%減と不調だった。一方、石油掘削用プラットフォームや輸送船などの大型製品の輸入によりその他輸送機器(5.9%)が 39.1%増と大幅な増加となった。次に大きい品目は原料別半製品(14.1%)だが、国内の工業生産の減少から、鉄鋼が 53.5%減、非鉄金属が 40.0%減と不振だったのをはじめ、大半の品目で大幅減となり、全体で 33.2%減となった。こうした中、医薬品が唯一、新型インフルエンザ用ワクチンを大量に調達したことなどから 6.8%増という伸びを見せた。

国・地域別に見ると、最大の輸入相手国は輸出同様、EU27 で全体の 70.4%を占めたが、22.8%減だった。国

表 1 デンマークの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万 Dkr, %)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2008年	2009年			2008年	2009年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食料品	91,761	85,609	17.4	△ 6.7	54,845	48,509	11.0	△ 11.6
肉・同調製品	29,805	27,129	5.5	△ 9.0	7,831	7,656	1.7	△ 2.2
原材料	21,919	17,760	3.6	△ 19.0	15,555	11,920	2.7	△ 23.4
鉱物性燃料	69,320	43,831	8.9	△ 36.8	46,536	31,427	7.2	△ 32.5
原油・石油製品	51,743	33,351	6.8	△ 35.5	36,968	25,512	5.8	△ 31.0
化学品	77,280	76,343	15.5	△ 1.2	60,586	51,507	11.7	△ 15.0
医薬品	40,722	42,927	8.7	5.4	17,194	18,361	4.2	6.8
原料別半製品	64,465	50,897	10.3	△ 21.0	92,382	61,712	14.1	△ 33.2
鉄鋼	10,077	5,851	1.2	△ 41.9	23,418	10,899	2.5	△ 53.5
非鉄金属製品	3,804	2,609	0.5	△ 31.4	8,060	4,835	1.1	△ 40.0
機械類	155,871	125,389	25.5	△ 19.6	187,107	148,002	33.7	△ 20.9
発電機	26,869	21,693	4.4	△ 19.3	12,102	9,043	2.1	△ 25.3
一般機械	43,024	33,954	6.9	△ 21.1	31,096	23,350	5.3	△ 24.9
通信機器	11,667	8,728	1.8	△ 25.2	19,913	17,775	4.0	△ 10.7
電気・電子機器	19,812	17,675	3.6	△ 10.8	26,452	22,077	5.0	△ 16.5
道路輸送用機器	15,304	11,136	2.3	△ 27.2	40,699	22,861	5.2	△ 43.8
その他輸送用機器	9,361	7,723	1.6	△ 17.5	18,532	25,770	5.9	39.1
複製品	87,580	78,007	15.8	△ 10.9	83,971	71,244	16.2	△ 15.2
家具・同部品	13,998	11,358	2.3	△ 18.9	9,095	7,267	1.7	△ 20.1
合計(その他を含む)	585,798	492,641	100.0	△ 15.9	556,433	439,188	100.0	△ 21.1

[注] 表 2, 9とも、EU 域外貿易は輸出(FOB)、輸入(CIF)、域内貿易はインボイスベース。
[出所] 表 2, 9とも、デンマーク統計局。

表 2 デンマークの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万 Dkr, %)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2008年	2009年			2008年	2009年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU27	398,864	325,899	66.2	△ 18.3	400,501	309,123	70.4	△ 22.8
ユーロ圏	234,362	195,033	39.6	△ 16.8	260,795	200,707	45.7	△ 23.0
ドイツ	102,612	85,208	17.3	△ 17.0	118,331	93,108	21.2	△ 21.3
オランダ	26,839	22,785	4.6	△ 15.1	37,593	30,862	7.0	△ 17.9
フランス	25,635	20,672	4.2	△ 19.4	20,763	15,426	3.5	△ 25.7
イタリア	18,139	15,028	3.1	△ 17.2	21,896	15,069	3.4	△ 31.2
非ユーロ圏	164,502	130,866	26.6	△ 20.4	139,706	108,415	24.7	△ 22.4
スウェーデン	85,287	62,789	12.7	△ 26.4	77,889	58,215	13.3	△ 25.3
英国	47,603	41,725	8.5	△ 12.3	28,131	24,447	5.6	△ 13.1
ポーランド	14,061	12,080	2.5	△ 14.1	15,269	11,654	2.7	△ 23.7
ノルウェー	35,855	31,428	6.4	△ 12.3	26,498	23,245	5.3	△ 12.3
ロシア	11,129	8,263	1.7	△ 25.8	11,014	4,725	1.1	△ 57.1
米国	33,003	30,903	6.3	△ 6.4	17,918	15,137	3.4	△ 15.5
中国	11,214	11,475	2.3	2.3	32,965	28,584	6.5	△ 13.3
日本	11,447	10,038	2.0	△ 12.3	3,383	2,282	0.5	△ 32.5
韓国	3,864	3,104	0.6	△ 19.7	2,736	2,928	0.7	7.0
インド	2,772	2,075	0.4	△ 25.1	3,591	3,684	0.8	2.6
合計(その他を含む)	585,798	492,641	100.0	△ 15.9	556,433	439,188	100.0	△ 21.1

別では、最大のドイツ(構成比 21.2%)が 21.3%減とふるわず、以下、スウェーデン(13.3%)が 25.3%減、オランダ(7.0%)が 17.9%減、英国(5.6%)が 13.1%減と続く。ドイツとスウェーデンからの最大輸入品目は自動車であり、自動車販売の低迷が、輸入減少につながった。このほか、輸入の約半分が原油・天然ガスであるロシアから(1.1%)が 57.1%減と激減した。同国からの原油・天然ガスの輸入は数量ベースでは 25.7%減だったものの、価格の下落

により金額ベースでは62.1%減となったことが影響した。

■医薬品・食品部門で活発な投資

2009年の対内直接投資額(実行ベース、ネット、フロー)は、435億Dkrとなり、前年より増加しているが、ピークであった2007年の531億Dkrに比べると低い水準となっている。また、M&Aの事例数で見ると、2008年の341件から2009年は378件に増加しており、1件あたりの規模は小さくなったものの依然活発な対内投資が行われ、この傾向は2010年も続くと見られている。直接投資誘致機関であるインベスト・イン・デンマークは2009年の対内投資は42件で、そのうち43%がアジアからの投資だったと発表している。デンマーク統計局によると、外資系企業はデンマークの総企業数の約1%を占めており、雇用の18%を創出し、企業売上高全体の22%を上げており、外国企業の対内投資がデンマーク経済に与える影響は大

きい。

業種別に見ると、前年に引き揚げ超過だった金融・関連サービスが最大で191億Dkrだった。商業・運輸部門が139億Dkrで続く。国・地域別では、大半はEU27からの投資に集中している。例年同様スウェーデンが最大の投資受け入れ国で、以下米国、ドイツと続く。

2009年の大型投資案件を見ると、金融部門ではスウェーデンのノルデア銀行によるフィオニア銀行買収やバーミュダ籍の投資会社ノルディック・ランオフによるコペンハーゲン再保険の買収などの大型案件があった。商業・運輸部門では、ドイツの物流大手ダクサーがコペンハーゲン近郊に物流センター建設を7月に発表したほか、小売では、11月に英国百貨店大手のデベナムズが、アイスランド投資家が保有し、デンマークに12店舗展開する大型百貨店マガジンを1億Dkrで取得すると発表した。医薬品部門ではデンマークに工場や事務所を設置する動

表3 デンマークの業種別対内直接投資<実行ベース、ネット、フロー>

2008年		2009年	
農業、水産業、原材料	200	農業、水産業、鉱業	2,700
製造業	26,800	製造業	4,900
食品	26,700	食品、飲料、たばこ	△ 400
石油・化学・プラスチック	△ 5,300	石油精製、化学、プラスチック	2,400
金属、機械	1,300	金属、機械	1,700
商業・ホテル・レストラン	△ 300	商業、運輸他	13,900
運輸・郵便・通信	7,500	情報通信	△ 4,200
金融、保険、ビジネスサービス	△ 2,900	金融	19,100
金融仲介	6,200	持株会社(本社を除く)	12,800
	-	保険	300
不動産	4,200	不動産売買業	△ 1,800
ビジネスサービス	△ 7,700	ビジネスサービス	1,400
金融でない持株会社	△ 8,900	本社としての活動	1,300
合計(その他を含む)	32,800	合計(その他を含む)	43,500

[注] 表4、6、7とも、利益再投資を含む。2009年は速報値。

合計以外の業種別の数値は、企業名が特定される恐れのある場合は統計数値として計上しないため、各項目の合計を足し上げても合計と一致しないことがある。

2009年より業種の分類方法が変更された。

[出所] 表4、6、7とも、デンマーク中央銀行。

表4 デンマークの国・地域別対内直接投資<実行ベース、ネット、フロー>

	2008年	2009年
EU27	30,900	33,800
ユーロ圏	△ 800	14,200
ドイツ	2,600	5,800
フランス	3,600	2,800
オーストリア	100	2,500
フィンランド	△ 900	1,500
オランダ	7,000	1,300
イタリア	900	1,200
ベルギー	3,700	△ 2,800
非ユーロ圏	31,700	19,600
スウェーデン	12,500	14,400
英国	19,000	4,700
ノルウェー	△ 1,600	1,300
スイス	△ 5,600	1,300
米国	6,600	9,300
日本	0	200
合計(その他を含む)	32,800	43,500

表5 デンマークの主な対内直接投資(2009年)

(単位:100万Dkr)				
買収・投資企業(業種)	投資企業の国籍	被買収・投資先企業	金額	時期
ノルトツッカー(製糖)	ドイツ	ダニスコ(食品)の砂糖部門	5,600	3月
EQT(投資会社)	スウェーデン (オランダ経由)	KMD(IT, ビジネスコンサルティング)(資本参加, 85%)	2,000	3月
プロノーバ・バイオフィーマ(バイオ製薬)	ノルウェー	カルンボー市に工場を建設	1,700	10月発表
アルトーエクイティーズ(投資会社)	スウェーデン	パルス・メドテック(医療機器)	n.a.	6月
ノルデア銀行	スウェーデン	フィオニア銀行	900	11月
マッコリー・エアポート(空港運営会社)	オーストラリア	コペンハーゲン空港(資本参加, 26.9%)	n.a.	12月
EQT(投資会社)	スウェーデン	スカイコン(風力発電, 資本参加)	300	11月
グランドヴィ家	アイスランド	スカンベック・ノルディック(計量機器)	n.a.	4月
ボイマー(機械製造)	ドイツ	クリスプラント(自動仕分機)	241	8月
ダクサー(物流)	ドイツ	コペンハーゲン近郊に物流センターを設立	164	7月発表

(出所) 表8とも各社発表および各種報道資料を基にジェトロ作成。

表6 デンマークの業種別対外直接投資<実行ベース、ネット、フロー>

(単位:100万 Dkr)

2008年		2009年	
農業、水産業、鉱業	7,700	農業、水産業、鉱業	4,800
製造業	82,000	製造業	24,400
食品	68,500	食品、飲料、たばこ	7,500
石油・化学・プラスチック	△ 700	石油精製、化学、プラスチック	△ 2,100
金属、機械	4,900	金属、機械	10,800
商業・ホテル・レストラン	8,700	商業、運輸他	△ 800
運輸・郵便・通信	4,500	情報通信	△ 1,000
金融、保険、ビジネスサービス	△ 22,600	金融	18,100
金融	△ 28,400	持株会社(本社を除く)	10,600
不動産	-	保険	700
不動産	2,500	不動産売買業	2,500
ビジネスサービス	9,200	ビジネスサービス	8,400
持株会社	2,900	本社としての活動	3,500
合計(その他を含む)	92,100	合計(その他を含む)	84,600

きがみられ、ノルウェーのプロノバ・バイオ・ファーマ(製薬)が新工場をカルンボー市に17億Dkrで建設した事例、中国の上海ケムパートナー(バイオ・検査)がコペンハーゲンに欧州統括拠点を設置した。食品関連ビジネスでは、前年に発表されたドイツのノルトツッカー(製糖)によるダニスコ(食品)の砂糖部門買収が最大だった。ドイツのケータリング会社チッティが、同業のホークラン・シュルツ・フードサービスを6億Dkrで取得した。また、デンマークではそれまで禁止されていた缶ビールの販売が2002年に解禁されたことを受けて、英国レクサム(缶製造)が8億5,000万Dkrを投じて飲料用缶製造工場を建設し、5月に操業を開始した。

2009年の対外直接投資額は、846億Dkrで、前年の921億Dkrから減少したものの、食品、医薬品部門を中心に積極的な動きが目立った。国・地域別に見ると、スウェーデンが最大額384億Dkrで、前年を下回りはしたものの依然活発である。前年に開始した海運大手A.P.モラー・マースクによる同業ブローストレームの買収手続きが2年越しとなっていることに加え、チュック・ベスタ・フォシクリ

表7 デンマークの国・地域別対外直接投資<実行ベース、ネット、フロー>

(単位:100万 Dkr)

	2008年	2009年
EU27	90,800	54,000
ユーロ圏	43,100	4,900
ドイツ	10,500	5,100
フィンランド	3,400	3,200
イタリア	900	900
ベルギー	△ 200	△ 600
オランダ	3,700	△ 700
フランス	17,400	△ 4,900
非ユーロ圏	47,700	49,100
スウェーデン	46,500	38,400
英国	△ 2,000	8,800
ノルウェー	△ 14,400	4,100
スイス	△ 3,500	900
米国	5,000	13,200
シンガポール	1,400	6,100
中国(香港と台湾を除く)	500	700
日本	500	0
合計(その他を含む)	92,100	84,600

ング(金融)によるモダーナ・フォーシェークリンガル・サーク(損害保険)買収など大型案件が続いている。

2009年の対外投資で目立った大形案件としては、医薬品部門では、2月にルンドベック(中枢神経疾患薬製造)が米国の競合相手オベーションを52億Dkrで買収した案件、11月のレオ・ファーマ(血栓・皮膚病治療薬製造)による米国ペプリン(皮膚病薬製造)買収、1月のノボ・ノルディスク(糖尿病・血友病薬製造)による米国ネオス・テクノロジー(血友病薬製造)買収などがあげられる。食品部門も、活発な投資活動が見られ、食品(乳製品)大手のアーラによる国際的な乳製品販売ネットワーク拡大の動きが目立った。同社は3月にオランダの同業ロイヤル・フリースランド・カンピーナからフリースランド・フードフレッシュ・ナイケルクを買収した。同月、米国オハイオ州のグリーン・メドウズ・フード(プロテイン添加食品製造)の工場を3

表8 デンマークの主な対外直接投資案件(2009年)

(単位:100万 Dkr)

被買収・投資先企業(業種)	投資対象国	買収・投資企業	金額	時期
ブローストレーム(海運)	スウェーデン	A. P. モラー・マースク(海運)	6,600	2月※
オベーション・ファーマシューティカルズ(製薬)	米国	H・ルンドベック(製薬)	5,200	3月
ペプリン(製薬)	米国	レオ・ファーマ(製薬)	n.a.	11月
モダーナ・フォーシェークリンガル・サーク(損害保険)	スウェーデン	チュック・ベスタ・フォシクリング(生命保険)	810	4月
ネオス・テクノロジー(製薬)	米国	ノボ・ノルディスク(製薬)	4,300万ドル	1月
コム・シトローム(電気サービス)	ドイツ	ドンク・エネルギー(エネルギー)	200	10月
フリースランド・フードフレッシュ・ナイケルク(乳製品)	オランダ	アーラフーズ(食品)	n.a.	3月
アチック・リアルタイム(情報サービス)	フランス・デンマーク	LDインベスト・エクイティ(投資会社)	n.a.	11月
ピエン・ドン・ファーマシューティカル JSC(製薬)	ベトナム	PENM 投資基金(投資会社)	n.a.	12月
アクティブウインド APS-カルチノ(新エネルギー開発)	ポーランド	ドンク・エネルギー(エネルギー)	38	5月

(注)2008年11月に実施した買収の残額

億 Dkr で購入し、11 月には英国ロンドン近郊に超大型の乳製品加工工場を新規建設する計画を発表した。食品部門では他社も活発な動きをみせ、12 月にはカールスバーグ(ビール製造)が英国のノーサンプトンに 2 億 5,000 万 Dkr 投資し、醸造所を建設する計画を発表した。2010 年 1 月には、大手食肉生産販売のデニッシュ・クラウン傘下である食肉加工のチューリップがドイツの同業ニートフェルトを買収を発表している。また、運輸・通信部門では、デンマーク国鉄 DSB が、ドイツのフランクフルト地方の鉄道会社ヴィアスの株式 50% を取得した。DSB は、既にスウェーデン国境をまたぐ鉄道路線の運行を開始しているが、今後はドイツへの列車乗り入れを増やし、ドイツ市場に事業展開する足掛かりにすると見られている。

■対日輸出は低調

デンマークと日本の貿易は、対日輸出が対日輸入を大幅に上回る状況がずっと続いている。2009 年のデンマークの対日貿易(通関ベース)は、輸出が前年比 12.3%減の 100 億 3,800 万 Dkr で、輸入は、同 32.5%減の 22 億 8,200 万 Dkr だった。対日輸入が大幅に減少した理由として、円高・クローネ安により完成品、部品、原材料を問わず日本製品の価格競争力が低下したこと、景気後退下の内需不振で、対日輸入の半分を占める機械類が 36.8%減と不振だったことがあげられる。

対日輸出を品目別に見ると、最大品目は、例年通り、肉・同調製品(構成比 33.9%)だが、前年比 11.8%減となった。デンマークは、日本にとって加工用冷凍豚肉の最大の輸入先だが、デンマーク国内の豚肉生産量そのものが頭打ちとなっている上、EU 域内の需要が強く、デンマークからの対日輸出は減少傾向にある。そこに円高によって価格競争力が増した米国、カナダ、経済連携協定による特惠関税の恩恵に浴するメキシコ産の豚肉が入りつ

つある状況だ。次に多い品目は医薬品(25.9%)で 0.9%増と堅調な伸びを示した。デンマークが得意とする糖尿病薬や中枢神経疾患薬などは、日本の高齢化に伴い、今後、需要が拡大することが予想される。機械類(11.8%)は、一般機械の 34.5%減をはじめ全般に不振な品目が目立ち、36.8%減少した。

対日輸入では、全体の半分を占める機械類(構成比 47.2%)が、前年比 50.0%減と不調を極めた。中でも、例年、最大の対日輸入品目である道路輸送用機器(10.0%)は 52.6%減と激減し、2 位に後退した。景気後退に伴い、デンマーク全体の自動車の販売台数が減少する中、円高が逆風となったことによる。しかし、日本車の人気は根強く、輸入額の減少幅ほどは、販売台数は減っていない。2009 年のメーカー別自動車販売台数統計をみると、全体では前年比 25.1%減だが、日本メーカーの販売台数は 15.7%減にとどまっている。円高を避け、欧州域内生産車が選択された例もあるとみられる。このほか、最大の輸出品目となった測定・分析・医療機器(11.8%)は、その大半がマイクローム(顕微鏡上での観察試料を極薄に切断する装置)であるが、医薬品やバイオ産業などの好調を受けて、前年比 7.0%増と大幅な伸びを示した。

2009 年の日本からのデンマークへの直接投資は、前年の引き揚げ超過から回復し、2 億 Dkr となった。公表された案件は少なく、9 月にキヤノンが IT 販売のデジタルハウスを買収した他に大型案件は見当たらない。撤退事例としては、7 月にサカタのタネが、苗下栽培・販売のフリーザ・プランタを現地従業員が設立したノルディックオーナメンタルズに売却した。デンマークから日本への直接投資では、7 月にオンライン投資専門のサクソバンクがアストマックス FX(投資会社)を買収したことが注目されたが、その他、目立った動きは見られなかった。

表 9 デンマークの対日主要品目別輸出入上位 10 品目<通関ベース>

(単位:100 万 Dkr, %)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)				
	2008 年	2009 年			2008 年	2009 年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
肉・同調製品	3,860	3,404	33.9	△ 11.8	測定・分析・医療機器	251	268	11.7	6.8
医薬品	2,578	2,601	25.9	0.9	道路輸送用機器	481	228	10.0	△ 52.6
その他雑製品	529	466	4.6	△ 11.9	その他輸送用機器	446	181	7.9	△ 59.4
測定・分析・医療機器	458	436	4.3	△ 4.8	映像・録音・通信機器	260	170	7.4	△ 34.6
一般機械	478	313	3.1	△ 34.5	再輸入品	108	165	7.2	52.8
乳製品	275	281	2.8	2.2	一般機械	262	152	6.7	△ 42.0
魚介類	324	272	2.7	△ 16.0	原動機、内燃機関	179	140	6.1	△ 21.8
有機化学品	163	237	2.4	45.4	写真機・光学機器	97	105	4.6	8.2
その他化学品	258	214	2.1	△ 17.1	有機化学品	97	89	3.9	△ 8.2
家具類	256	207	2.1	△ 19.1	その他雑製品	98	83	3.6	△ 15.3
合計(その他を含む)	11,447	10,038	100.0	△ 12.3	合計(その他を含む)	3,383	2,282	100.0	△ 32.5